

みなさんのしゃべり場

2016年

4/17

花カフェ

申し込み不要
ドリンク1杯100円

だれでも気軽に立ち寄っていただけるコミュニティカフェです。花ハウスの生活相談員、地域包括支援センターの職員もテーブルを囲みます。1時間ほどの講話の後は、ゆっくりお過ごしください。

日時: 2016年4月17日(日) 13:30～15:40

会場: 特別養護老人ホームよみうりランド花ハウス

(川崎市多摩区菅仙谷4-1-4)

講師: 読売新聞社会保障部 **野口 博文 氏**

テーマ: 「認知症と賠償～認知高齢者の列車事故から考える～」

認知症の人が起こした火事や事故について、介護する家族は賠償責任を負うのか。認知症の男性(当時91歳)が徘徊して列車にはねられた事故の責任を家族が負うべきかが争われた訴訟で、最高裁は3月1日、「夫婦だから」「子どもだから」というだけの理由では、監督義務を負わないとして、賠償責任を否定する判断を示しました。読売新聞の社会面連載「認知症と賠償」の取材経験をもとに、介護家族の苦悩や地域の現状、裁判のポイントやリスクへの備えなどについて読売新聞記者の野口氏に話していただきます。街の中にたくさんの認知症高齢者が暮らす時代が訪れる中で、地域としてどのような取り組みができるのか、皆で話し合っていきたいと思います。

広い無料駐車場あります!



【講師紹介】

2000年3月に中央大学法学部卒業後、2000年4月、読売新聞東京本社入社。富山支局、社会部を経て、2009年5月から、社会保障部に所属。認知症など、介護や医療の現場と政策を取材。2014年4月から1年間、よみうりランド花ハウスに勤務。



※マイカーやバス、徒歩などでご来店いただくことが難しい場合、送迎について、事前にご相談ください。

【問い合わせ先】 **044-969-3111** (後藤・大槻)

主催: 社会福祉法人 読売光と愛の事業団